

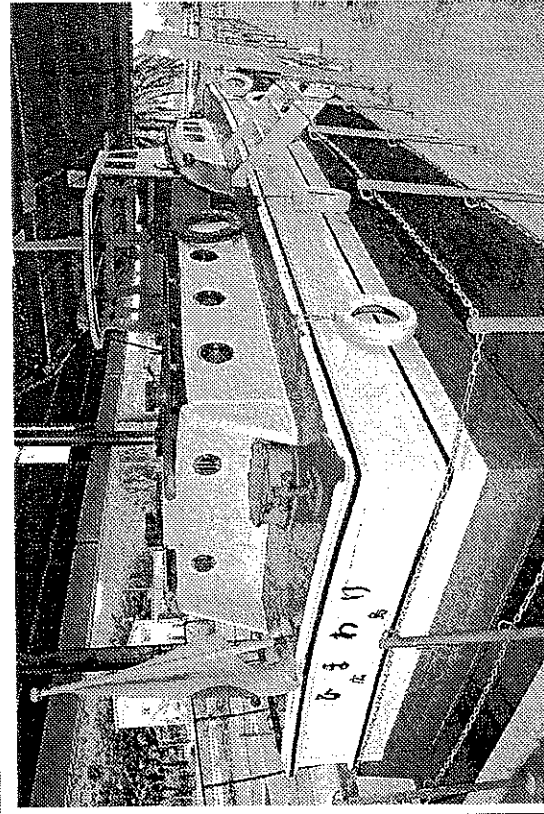
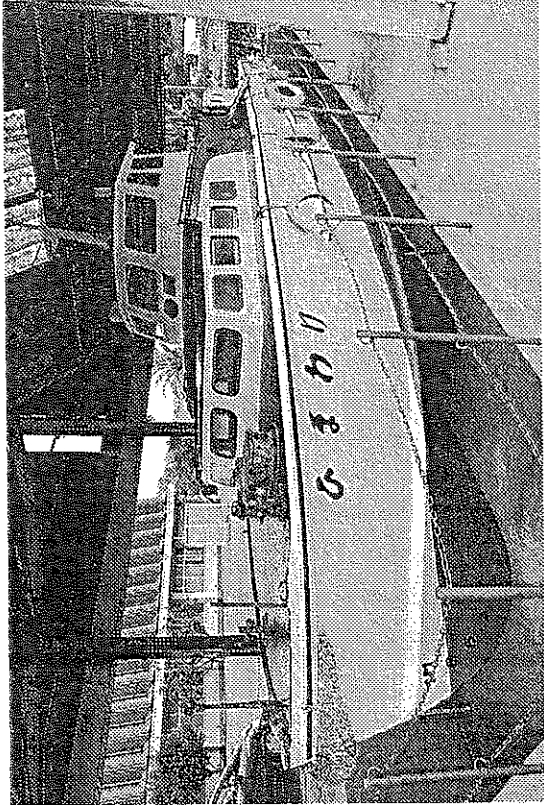
資料 3/2

2015年4月15日(水曜日)

永井晃医師「壊されず、本当に良かった」

# 現役当時の姿取り戻す

## 瀬戸田中生徒と校長も手伝い



### 図書館船「ひまわり」

(続報)全国で唯一運航した後に瀬戸田町林、B&G瀬戸田海洋センターの敷地内に展示され、老朽化していた元広島県立図書館の移動図書館船「ひまわり」(木造の外装の塗り替えと清掃作業がほぼ終わり、かつて瀬戸内海を走っていた姿に戻った。

図書や映画フィルムを積んで島々を巡った文化船「ひまわり」(長さ14m)は「島嶼部の人達に読書に親しんでもらいたい」と1962年4月に就航。15の島々の28市町村を廻り、まだ学校図書が充実していなかった当時特に小学生に親しまれた。

81年に移動図書館車「みのり号」にバトンタッチするまでの20年間に9万2000kmを走り、延べ45万人が利用、70万冊が貸し出されたと記録がある。

廃船後、和氣成祥町長時代の豊田郡瀬戸田町に寄贈された。専用の屋根を架けて屋外展示してきたが、34年が経過し、船体表面の塗装は剥げ、ガラスが割られ、ほこりを被るなど、傷みも激しく長年放置されていた。

市教委は今年初めに解体・撤去を決め2月中旬に工事入札を行ない業者も決めていたが、瀬戸田町瀬戸田、永井医院の永井晃医師(70)が「自分達

で何とかきれいにペンキを塗り替えるので壊すのを待つてほしい」と要望。市教委は解体工事を中止し、成り行きを見守った。

永井さんは早速、町内外の友人らに声を掛け、週末に集まっては前の塗装を剥がし、白と赤の船体を新しく塗り替える作業を進めた。終盤には地元瀬戸田中学校の生徒も手伝い、いたずらで割られていたガラスも直して船内を清掃するなど見事に修繕した(写真・右左)。

「こういう船が、かつて瀬戸内海には走っていたという島の文化、歴史を子供達に伝えたかった。市も壊さず残すことにしたと聞いて、本当に良かった」と永井さん。

児童文学作家の林原玉枝さんや、本の読み聞かせを学校施設などで行なっている市民グループのメンバーらも「ひまわり」の存在を初めて知り、今回の修繕を喜んで何度も足を運んでいる。

市行政は「皆さんの手できれいになったので、もう壊しません」と明言。今後は、解体を免れ更なる保存と展示が決まった。

この図書館船の遺構を、学校の学習などにどのよ

うに役立てていくかが問われてくる。【幾野伝

寄付受けて、市は屋根の塗り替え改修に着手

# 全国で唯一の図書館船

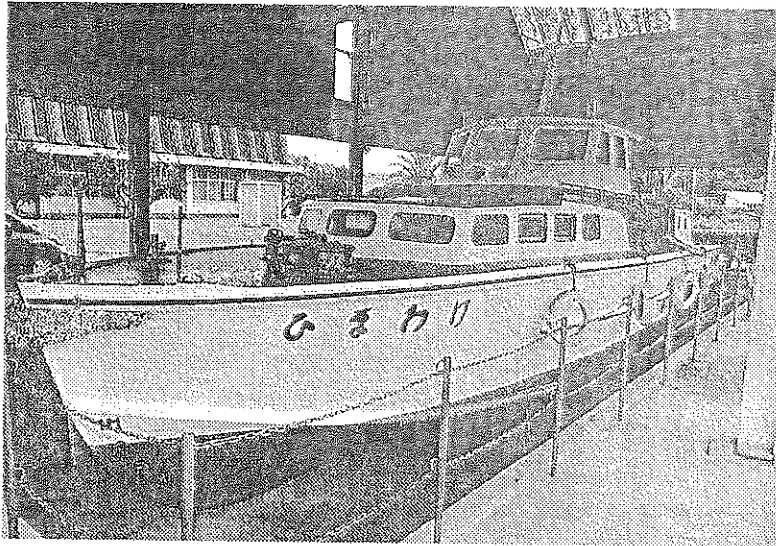
## 歴史経過と「ひまわり」雑誌で特集を 保存活動

### 瀬戸田町で展示

瀬戸田町林、B&G瀬戸田海洋センターの敷地内に保存展示されている文化船「ひまわり」が、島の魅力を発信している雑誌「せとうち暮らし」20号(本体917円)で特集されている。

1962年から81年まで、瀬戸内海の島々に本や映画フィルムなどを積んで廻った、全国で唯一だった広島県立図書館所有の図書館船「ひまわり」の歴史と現在のようすを伝えている。

編集長でチーフライターの山本政子さんの取材で、当時事業課長で乗船していた沖本照夫さん、司書として乗っていた黒川隆久さんらにインタビュー。県内19の島々を、(宮島コース)(蒲刈コース)(犬崎コース)(因島コース)の4つのコースで巡っていました。70年代から乗船していた黒川さんが答えている。子どもたちだけでなく、島の大人たちまでもが2ヶ月に一度寄港する



文化船を、いかに待ち侘びていたかを写真とともに振り返っている。

昭和37年度の航路図も示されていて、36の配本所と4つの貸出文庫に2カ月に1回の割合で巡航していた。船長さんたちは「ひまわり」の船内に宿泊。小さな台所やベッドもあったと説明している。

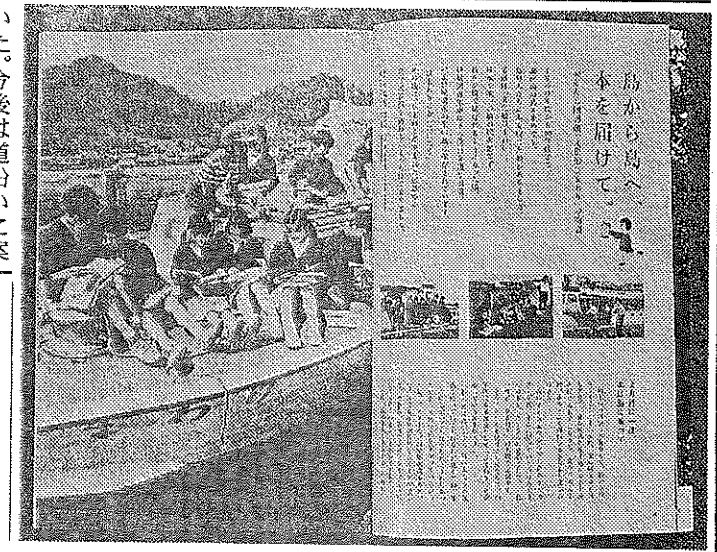
後半では、退役後に瀬

戸田町に長年展示され、老朽化していた「ひまわり」

り」を尾道市が解体し掛けた経緯にも触れ、同町の医師永井晃さんや栗原町、童話作家林原玉枝さんらの熱心な保存ボランティア活動で廃棄処分を免れ、多くの人にその歴史と存在を知ってもらいたいと、就航当時に行なわれていた絵本の読み聞かせ会なども開いていると紹介。

今年10月には、ひまわりの船長だった娘さんの安芸郡坂町、中野秀子さんから「船の保存活用で役立ててほしい」と10万円の寄付が永井さんを通じて市教委生涯学習課に寄せられている。同課によれば、この寄付金を使って屋根の塗り替え改修を既に工事発注していると言う。

林原さんは本紙の取材に、「平谷祐宏市長からは解体しないとの言葉を頂



いた。今後は道沿いに案内板を立てるなどして、より多くの人に知ってもらいたい」と話している。来月8日午後1時から、雑誌発行元の瀬戸内人(高松市)の同誌編集部が主催して尾道商業会議所記念館議場で、発売記念のトークイベントが開かれる。問い合わせは090-9732-18046(林原さん)へ。

【幾野伝】



▼瀬戸田町、永井  
 医院の永井晃医  
 師(70)が中心に  
 なって同町林B  
 & G 海洋セン  
 ターで屋外展示されてい  
 る全国で唯一の移動図書  
 船「ひまわり」を再整備  
 する活動が始まった(後  
 日紹介します)。  
 ▼廃船、保存されて34年  
 が経過。施設を指定管理  
 するNPO法人が敷地の  
 有効利用を市教委に要  
 望、船体は傷みが激しく  
 子供が入る危険性もある  
 ことから、解体撤去する  
 工事入札を先月中旬に行  
 ない業者も決めていた  
 が、永井さんの申し入れ

から予算(約100万円)  
 の執行を中止した。  
 ▼3年前の本紙元旦号で  
 特集、「市民から恐れられ  
 ている瀬戸内文化を伝え  
 る貴重な文化財」と紹  
 介した。もう一度図書館  
 船に光を当ててほしいと  
 の願いで書いたが、その  
 後も状況は変わらず今日  
 に至っていた。  
 ▼「ひまわり」が就航した  
 1962年、既に高校生  
 だった永井さんはこの船  
 を利用した経験はない  
 が、展示船が酷く老朽化  
 していることが気になっ  
 ていた。解体されると聞  
 き「知らないうちに消え  
 てしまうのは勿体ない」

と直訴した。  
 ▼友人5人に声を掛け、  
 1ヶ月ほど前から週末に  
 集まり、外装を一旦剥ぎ  
 取って塗り直す作業に取り  
 掛かった。「想像以上に  
 大変ですが、出来るところ  
 までは自分達の手で  
 」と意気込んでいる。  
 ▼市教委が以前、船の改  
 修費を算出すると350  
 万円だったと言った。芸術  
 文化都市を掲げ海事都市  
 を強調する尾道市だから  
 こそ、永井さんの願いを  
 受け止め解体を思い止  
 まったと信じた。市民  
 と行政が協力しながらせ  
 ひ改修保存してほしい。  
 [幾野 佑]

H.27. 3/17

# 懐かし図書館 絵本読み聞かせ

## 瀬戸田でイベント

全国唯一の図書船 伝えるイベントが17  
 として1960年代か 日、船が屋外されてい  
 ら約20年間、瀬戸内海 る尾道市瀬戸田町、瀬  
 の離島に本を届けた 戸田町B&G海洋セン  
 「ひまわり」の歴史を ターであった。本遣の



船内で「ひまわり」の歴史や絵本の読み聞かせを聞く親子

船内で絵本の読み聞か  
 せなどがあり、家族連  
 れでにぎわった。  
 船には当時の本が並  
 ぶ。尾道市のグループ  
 が、船が小説や映画、  
 オールなぞを讀んで島  
 民に届けた歴史を親子  
 に説明。絵本を読み聞  
 かせたり、歌を一緒に  
 歌ったりして過ごし  
 た。  
 船上では子どもたち  
 が「ひまわり」を色ど  
 りどりの布に描き、船  
 を囲むように飾つ  
 けた。記念撮影する人も  
 いた。家族で訪れた同  
 町の主婦片山みゆきさ  
 ん(42)は「笑顔で船を  
 迎えた島の人たちの様  
 子が思い浮かびまし  
 た」と話していた。  
 船は県立図書館(広  
 島市中区)が62年に就  
 航。81年に廃止される  
 まで定期的に県内15島  
 を巡った。イベントは、  
 船の活用を呼び掛ける  
 地元住民たちでつくる  
 実行委員会が初めて企  
 画した。(新山亨)

2016. 4月18日

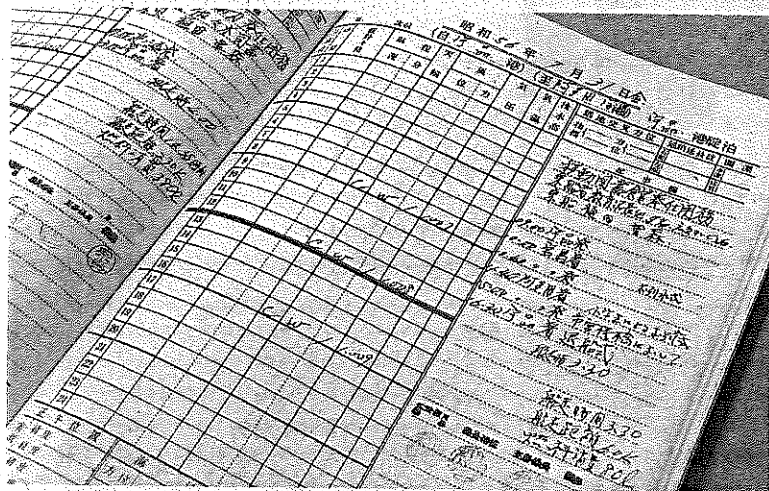
# 瀬戸内海の子に夢届けた20年

全国唯一の図書館船として1962年から約20年間、瀬戸内海の島の子どもたちに夢を届けた「ひまわり」の航海日誌が残っていたことが10日、分かった。最後の船長の植田増義さん(2011年に79歳で死去)の遺族が自宅で保管していた。運航していた広島県立図書館(広島市中区)は「島に文化を届けた歴史が分かる貴重な資料」としている。

日誌はB5判。81年4月6日から8月5日までの間の計39日をつづる。運航中の出来事として、三原港(三原市)から忠海港(竹原市)まで向かった際、経由した田熊港(尾



## 図書館船 有終の航跡



### 日誌 船長遺族が保管

道市(因島)で本500冊を入り替えたことや、現在では小学校に見童が6人しかいない尾道市の百島で、当時は見童

道市(因島)で本500冊を入り替えたことや、現在では小学校に見童が6人しかいない尾道市の百島で、当時は見童

70人が集まったという記述もある。

し、出港時にロープがスクリーンに巻き付いて航行を中止したというトラブルも記載している。

廃止直前には、走島(福山市瀬戸田町のB&G海洋センター)の敷地内で展示されている。老朽化が進んでいた船を同町の医師永井晃さん(71)たちが昨年3月に改修し、ことし4月には船内で本の読み聞かせイベントが開かれた。



① 植田船長の航海日誌。1981年7月31日に宇品港で退船式が開かれたとある  
② 退船式で宇品港に係留されたひまわり  
(1981年7月)

#### クリック

図書館船ひまわり 全長約14m、幅約3.7m。広島県立図書館が1962年4月に就航させた。

小説や映画フィルムなど約1500点を積み、県内15島の旧24市町を訪問。81年7月の廃止まで延べ58万7318人が利用し、貸出総数は36万5825冊に上った。

船が現存することを新聞で知った植田さんの長女中野秀子さん(56)は「広島県坂町に5月、活用してほしい」と日誌を永井さんに寄贈した。中野さんは「子どもが喜ぶ当時の姿が、今も思い浮かぶ」と話す。永井さんは「多くの人に船の功績を知ってほしい」として、県立図書館に近く寄贈する。同館の植田佳宏副館長は「航行していた時に記された資料は全く残っていない。活用策を考えたい」としている。

(新山京子)

# 図書館船の 保存を検討

尾道市長が意向

尾道市瀬戸田に展  
示されている全国唯一  
の図書館船「ひまわり」  
について平谷拓也市長  
は20日、解体せず保存  
に向けて検討する意向  
を示した。  
記者会見で船体につ  
いて「現在の歴史的文  
化遺産はあるが、保  
存する場所や方法を協

議したら」と述べた。  
ひまわりは、196  
2年から約20年間、瀬  
戸内海の島々を巡って  
本を子どもたちに届け  
た。現在、B&G海洋  
センターの敷地内で展  
示されている。市は、  
老朽化が進んでいたた  
め、解体方針を決めて  
義着の入札まで済ませ  
ていたが、地元住民た  
ちの要望もあり、対応  
を再検討していた。  
同町の医師永井晃さ  
んや、地元住民は  
昨年3月、市の許可を  
得て、船体のペンキを  
塗り替えて改修。こと  
し4月には船内で本の  
読み聞かせイベントを  
開くなどして保存と活  
用を求めていた。永井  
さんは「多くの人の目  
に触れる形で永久保存  
してほしい」と話して  
いた。(新山亨子)

2016. 8. 24

中国新聞

23面 地域  
(尾三)

19日、夕暮れクルージング参加者募集

# 「文化船ひまわり」祭り

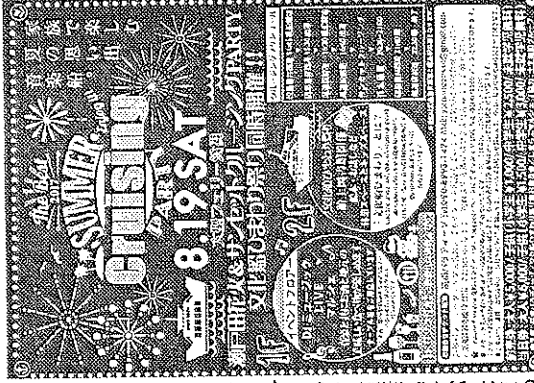
## 瀬戸田花火や音楽ライブと共に

### 県立図書館からも

家族で楽しむ夏の思い出音楽船。瀬戸田町高根の文化船ひまわり祭り実行委員会などが共催して、「サマークルージング・パーティー」を19日に行なう(小雨決行)。参加者を募集している。

土生商船グループのフェリーを貸し切って、サンセットクルージングや瀬戸田花火を楽しむ企画。1階のイベントフロアではDJミュージック、ライブ、マリンシェなどがあり、音楽を聴きながら飲食を楽しむ(高根バラディーズの

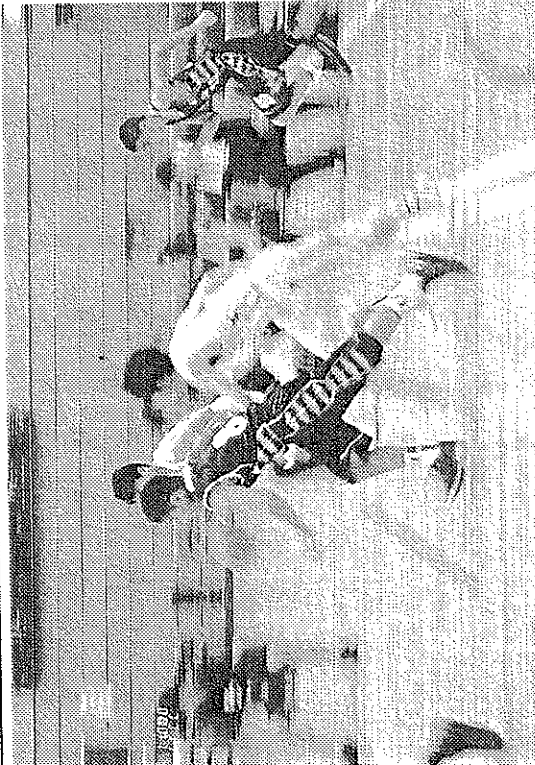
家族で楽しむ夏の思い出音楽船。瀬戸田町高根の文化船ひまわり祭り実行委員会などが共催して、「サマークルージング・パーティー」を19日に行なう(小雨決行)。参加者を募集している。



Facebookページで詳細情報を掲載)。2階では、1962年から19年間、瀬戸内海の島々に本や映画フィルムを届けた広島県立図書館所属の文化船「ひまわり」の歴史を紹介する。「ひまわり」は日本で唯一の移動図書館船で、退役後に陸揚げされ瀬戸田B&G海洋センターで屋外展示されている。老朽化で数年前には、市に

よって廃棄処分が決まっていたがその寸前に市民有志がペンキ塗りなど改修を行ない、現在も保存が続いている。植田佳宏県立図書館副館長が文化船ひまわりの歴史や活動について話し、堀純子さん(ルピナス)らが絵本を読み語り、他には指人形作り、百島の古い映像の上映、新しく作つたひまわりのパークラフトの組み立てなどで楽しむ予定。

クルージングのスケジュールは因島重井西港出港午後3時半、尾道駅前港出港4時40分、船上から瀬戸の夕暮れ8時半から9時まで瀬戸田水道での打ち上げ花火を鑑賞する。重井西港に9時40分、尾道駅前港に10時半に帰って来る予定。前売券大人5000



### 「旅」テーマ

来月「圓鏝」から「圓鏝」御調町高尾、圓鏝彫刻美術館で来月5日から、特別展「圓鏝勝三展」が開かれる。毎年秋から初冬に特展を開催、今年度は「旅」をテーマに企画。圓鏝さんは1962年、「海外美術学校のあり様を飾しよう」と3ヶ月かけ東南アジア、中近東、ヨーロッパの20数ヶ国をめぐり、その後も海外へ出ていく。「海辺の跡」(196

円小学生1000円、中学生2500円、未就学児は無料。1ドリンク付きで飲食代は別料金。定員200人。問い合わせとチケット販売は090-9732-8046(林原さん)へ。

### みんなに伝えるコミュニケーション

#### 伝える、表現を楽しむ



## 台湾秀峰迎えて交流戦

### 高校男子バスケット大会を

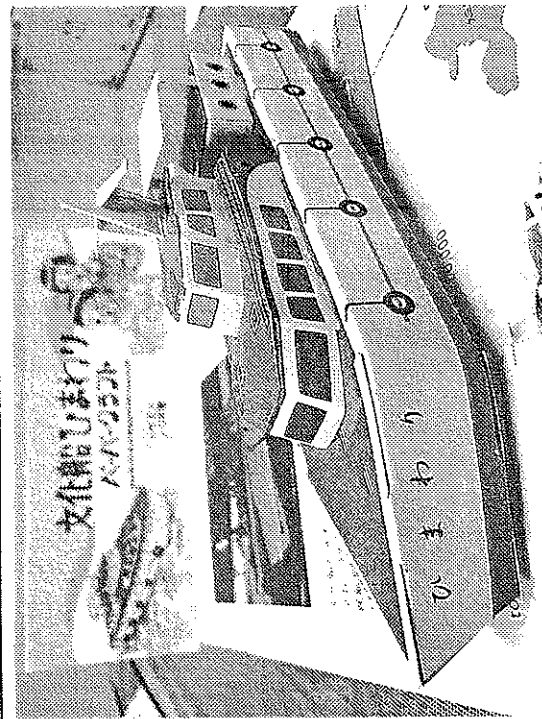
男子バスケットボール日台交流大会が5日びんご運動公園メインアリーナで開かれた。広島県高校体育連盟尾道三地区支部バスケット

ボール専門部の主催で、台湾秀峰高級中学の2チームを迎え、尾道商業、尾道東など合わせて10チームが参加。試合は10分ハーフで

行なわれ、真剣勝負はお互いに笑顔で握手交わっていた。「写真は秀峰と尾道合で、尾道が大勝した」(幾野

# 図書館船「ひまわり」

1962年4月に就航した木造船。1500冊の本やフィルムを積み込んで、瀬戸内海の19の島島(24市町)を廻りながら奇蹟の文化を届けた。多くの文化を届けた。



広島県内の島々に、児童書や映画フィルムなどを届けた広島県立図書館の文化船「ひまわり」を78分の1で再現するペーパーパークラフトが販売されている。「ひまわり」は、県立図書館が「平和を愛する人になるには、文化に親しまなければ」と建造し、1962年4月に就航した木造船。1500冊の本やフィルムを積み込んで、瀬戸内海の19の島島(24市町)を廻りながら奇蹟の文化を届けた。多くの文化を届けた。

現在、寄港地の一つだった生口島の瀬戸田町林、B&G海洋センターの敷地内に屋外展示されている。数年前には尾道市が一旦、老朽化を理由に展示船の解体撤去を予算化、入札業者も決まっていたが、当時を知る住民らによつてペーパーパークラフトは市民でつくる「文化船ひまわり号」保全委員会(林原玉枝代表)が同船の歴史を知らせ美

全長14m。架橋と自動車の社会に移り、81年7月に退役するまでの19年間に8万9400km走り、延べで45万人が利用、70万冊を貸し出した。国内では唯一の移動図書館船だった。現在は寄港地の一つだった生口島の瀬戸田町林、B&G海洋センターの敷地内に屋外展示されている。数年前には尾道市が一旦、老朽化を理由に展示船の解体撤去を予算化、入札業者も決まっていたが、当時を知る住民らによつてペーパーパークラフトは市民でつくる「文化船ひまわり号」保全委員会(林原玉枝代表)が同船の歴史を知らせ美

る第72回国民体育大会(愛媛つなぐえひめ国体)の少年男子ソフトボール競技に出場する広島県選抜チームは、県立御調高校を中心に選手が構成され、小川直文監督が指揮を執る。

少年男子ソフトボール競技は、東温市総合公園多目的グラウンドと向かすみの森公園多目的広場を会場に全国から13チームが集う。初日に一回戦、2日目は準々決勝、3日目の最終日に準決勝と決勝戦がある。

広島県選抜の登録メンバーは、御調高校から芦田竜之介君、佐々本集斗君、若林峻太君、齋木玲於君、藤原綜俊君、宮本海斗君、奥川諒介君、久留飛光亮君、桑田和佳君、藤原琢磨君、久保田陽貴君、他に尾道商業高校の平盛正悟君、市立呉高校の草本明聡君、近大福山広島高校の平岡直樹君。

初日正午から、総合公園で高知県と一回戦をたたかう。

# 国内唯一の歴史PRし

## 保全委がペーパーパークラフト販売

実際の船体が保存されていることをPRするために企画。芸術と生活tonami。(長崎県五島市)がデザイン、河内(広島市)が設計・製作した。長さ18cm、幅4.5cm。ノリとハサミは不要で、15分ほどで組み立てられる(1号)。1セット500円で販売。花本書店などに置いてある。売上げは「ひまわり」の永久保存を目指す。全活動に利用すると言ふ。

## 濱田宣教授が記念講演

福山市エフビコ宮にて16日から開催されている「浄土寺文書の世界」に関連し、23日、徳島文理大学の濱田宣教授による記念講演会が行われた。濱田教授は自身が県立博物館に所属していた頃、明王院の文化財を調査したことや大学では西国寺の調査に関

わるのが18年前。濱田教授が豊富に終わっていない。浄土寺に関

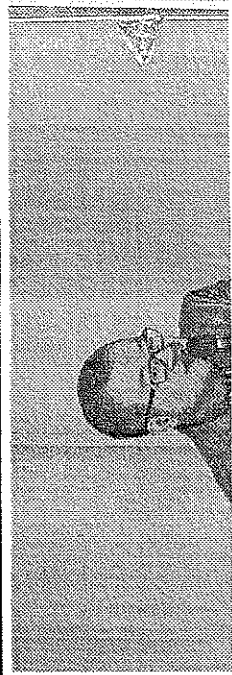
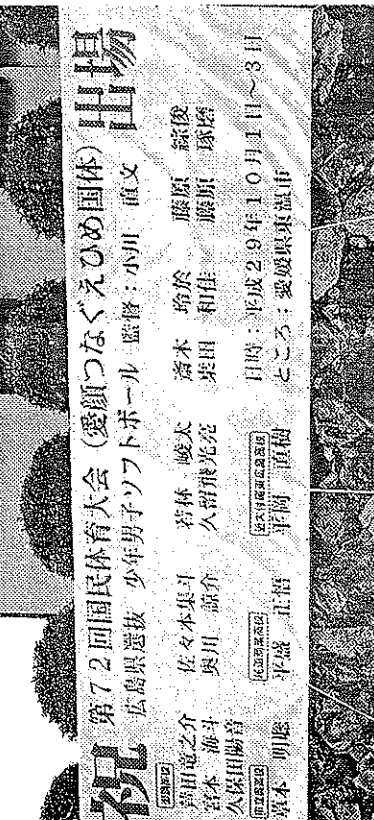
# 御調高校中心メンバー えひめ国体ソフト少年男子

祝 第72回国民体育大会(愛媛つなぐえひめ国体)出場

広島県選抜 少年男子ソフトボール

監督：小川直文

登録メンバー：藤原峻太、藤原琢磨、齋木玲於、和佳、柴田、久留飛光亮、若林峻太、久留飛光亮、奥川諒介、桑田和佳、藤原琢磨、久保田陽貴、佐々本集斗、奥川、平盛正悟、草本明聡、藤原琢磨、久留飛光亮、奥川諒介、桑田和佳、藤原琢磨、久保田陽貴、佐々本集斗、奥川、平盛正悟、草本明聡。



# 瀬戸の島に文化届けた

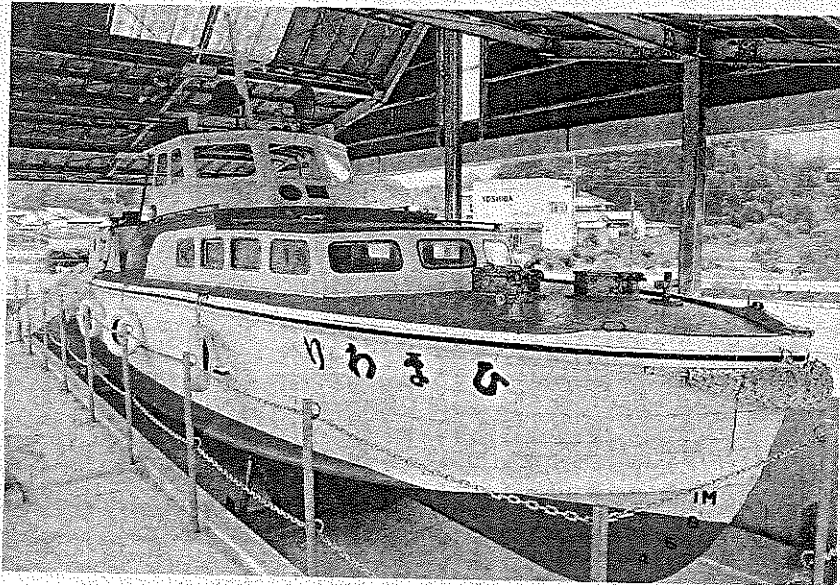
2017. 10/14(土) 毎日 7頁

## 国内唯一の図書館船保存活動

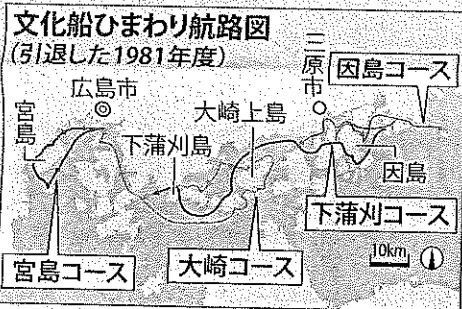
国内唯一の移動図書館船として1960〜80年代、瀬戸内海の島々を巡り島民に愛された「文化船ひまわり」の船体を永久保存しよう、広島県尾道市の有志らが活動している。中心メンバーの児童文学作家、林原玉枝さん(69)は「存在を忘れられ、一度は壊されそうになった船の文化的価値を多くの人に見直してほしい」と話している。

【倉田陶子、写真も】

### 広島 1962〜81年活躍



ペンキが塗り直された「文化船ひまわり」—広島県尾道市で



広島県内では50年代から移動図書館車が普及し、県民から喜びの声が上がる中、島しょ部からも「本を届けてほしい」という要望が高まっていった。県立図書館はこれを受け、62年4月に木造船のひまわり(約20ト、全長約14メートル、幅約3.7メートル)を就航させた。現在の副館長、植田佳宏さん(56)は「戦争をなくすためには外国を含め多様な文化を知ることが必要だ、という被爆地ならではの思いも込められていた」と話す。本だけでなく、映画フィルムや選挙公報を運んだこともあった。

大崎上島など県内15の島々を巡航し、約20年間で約45万人に70万冊弱を貸し出した。その後、島に橋が架かったり、大型フェリーが就航したりして車での搬送が可能になったため、81年7月に役目を終えた。

引退後は旧瀬戸田町(現尾道市)へ寄贈され、83年5月からB&G海洋センターの敷地内で展示。潮風にさらされ、ペンキがはげ落ちたり、窓が割れたり、傷みが目立つ状態になっていた。

2015年1月、市の撤去方針を知った地元の医師、永井晃さん(72)たちが「このまま壊すのはもったいない」と解体中止を求め、撤去は中断されている。永井さんたちは市の許可を得て船体を塗り替え、ひまわりを美しくよみがえらせた。以来、船内で絵本の読み聞かせイベントを開くなど、かつてのひまわりが担っていた文化的役割を復活させつつある。

林原さんたちは「市には永久保存を明言してほしいが、まずはひまわりのことを広く知ってもらいたい」と、船をかたどったペーパーフラット(500円、限定1000セット)を製作。売上金は保存活動に充てる。雑誌「せとうちスタイル」などを出版する瀬戸内人のサイト(<http://store.setouchihito.co.jp>)で購入できる。

「おこわい」の「おこわい」は休みました。

**とんぼ!**  
ご当地名産品  
**プレゼント祭**  
朝刊7連載  
10/15日〜21日  
是非、ご応募ください!  
広告企画・制作/毎日新聞社広告局

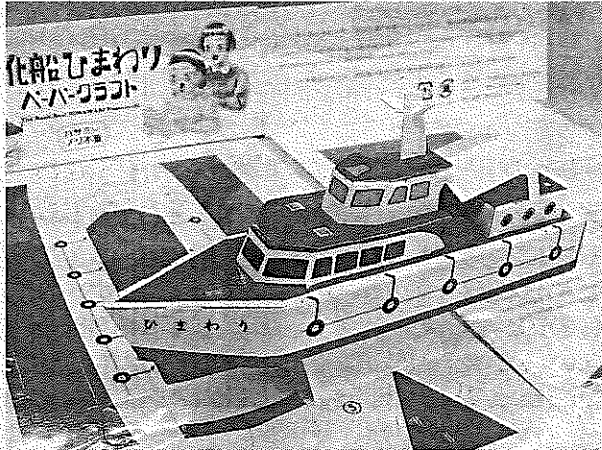
お天気		のち														
こんや	あす	18	21	24	3	6	9	12	15	18(時)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	14日 9
大阪	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
京都	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
神戸	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
奈良	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
大津	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
和歌山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
東京	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
名古屋	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁



尾 三

# 図書館船紙で再現して

## 尾道市民有志 ペーパークラフト作成



「ひまわり」のペーパークラフトを組み立てた完成品

## 販売収益を保存活動へ

昭和期に瀬戸内海の離島を巡り、子どもたちに本の魅力を伝えた図書館船ひまわり。実物の78分の1サイズとなるペーパークラフトを、尾道市の市民有志が作った。ひまわりは同市瀬戸田町で展示されており、販売の収益を保存活動に役立てる。

(田中謙太郎)



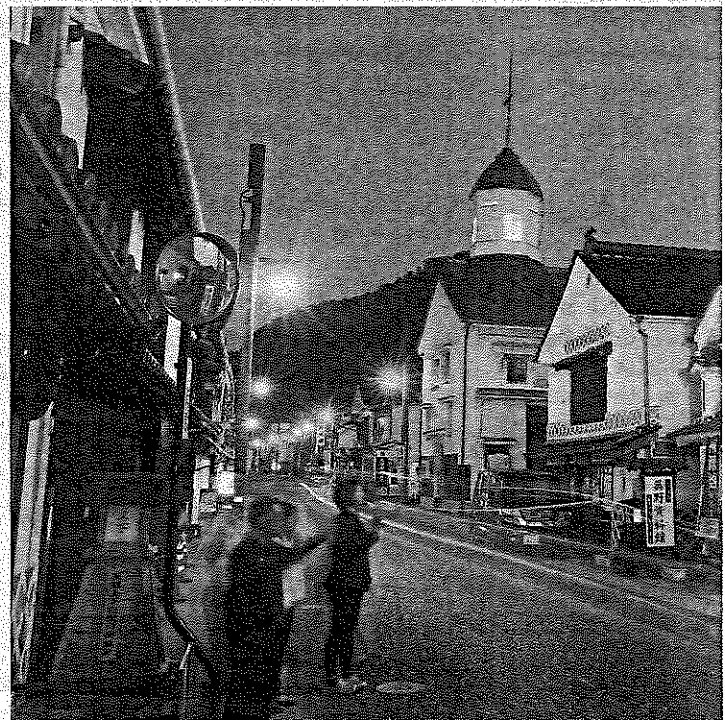
JR福山駅前で政策

説全に臨んだ。二十育いと推指 見渡に洋賣ては家族だけじゃなく税でなく、「アベノミ地域全体でやるう」。クスで法人税を下げ、共働き世帯が6割を超え、経済的、精神的な大企業の内部留保は増えた。相応の税金を払うべきだ」とする。負担を減らす必要があると指摘。消費税の使

尾道支局 0848(22)5258 FAX(20)0052  
三原支局 0848(62)3676 FAX(60)0094  
因島ステーション 0845(22)0766 FAX(26)0017  
世羅支局 0847(22)0372 FAX(25)0017

ペーパークラフトは長さ18センチ、高さ8センチ。船体は白とオレンジのツートンカラーで、のりやはさみを使わずに組み立てることができる。「文化船ひまわり」の名で親しまれた船は、県立図書館(広島市中区)が1962年から81年まで運行。島々を巡り、本や映画フィルムを貸し出した。現在は尾道市が所有す

有志の一人、林原玉枝は、県立図書館(広島市中区)が1962年から81年まで運行。島々を巡り、本や映画フィルムを貸し出した。現在は尾道市が所有する瀬戸田町B&G海洋センターの敷地内で展示されている。一昨年、老朽化で市が解体を決めたが、市民有志が展示船内で読み聞かせイベントを開くなどして保存を要望。昨年、市は解体方針を撤回した。ペーパークラフトは有志の一人、林原玉枝



情緒あ 夕暮れ。 レンジー色が光跡を 府中市 期から昭 残る。白 様のなま 史的景観 白壁の建 に照らさ 見える

## 北方謙三さん 作家人生語る

尾道で来月13日

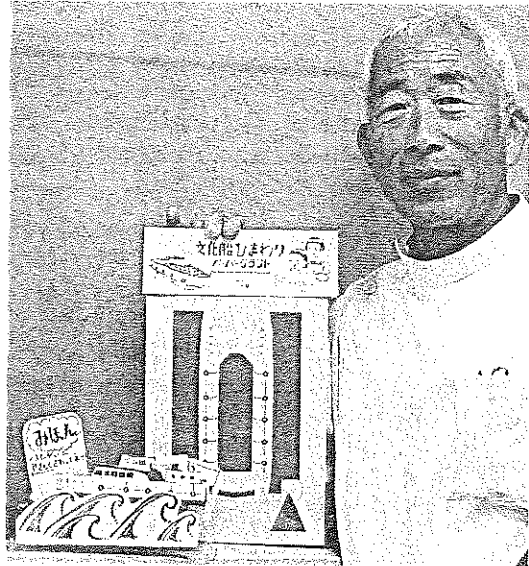


作家北方 謙三さん (69)の講演会

が11月13日午後6時半から、尾道市東御所町「チャイナサロン ドラゴン」などで販売している。同市と世羅町内の 中小企業や個人事業主 必要。同

でつくる 主催する 北方さ の街」や に「眠れ」 ボイルド 家となり 代からは 力。20 爵伝」で を受賞し 「私の文 生を語る 入場は

# 図書館船保存に 応援の輪 紙製の模型作り 販売開始



昭和37年から同56年まで本や映画を積んで瀬戸内海の島々を巡り文化を届けた県立図書館文化船「ひまわり」。現在、瀬戸田町のB&G海洋センターに保存・展示されている。いったんは解体が検討されたが、瀬戸田住民の強い要望で保存がつづけられることになった。

この活動に共鳴し応援しようとして、尾道市栗原町に住む林原玉枝さんら有志が、文化船ひまわりのペーパークラフト「写真」を作り販売を開始した。実物の78分の1のサイズで長さ18センチ高さ8センチ、白とオレンジの2色。定価500円。現在、瀬戸田町の次の場所販売されている。B&G海洋センター▽永井医院▽友文館▽平山美術館▽しおまち商店街▽しまなみロマン。

## 協力隊が物産展 しおまち商店街

各地の地域おこし協力隊によるアンテナショップO'Miseが28・29日午前10時〜午後5時、瀬戸田町しおまち商店街(旧越智商店)で開かれる。新鮮な野菜や手作りアクリルセサリーが勢揃いする。【問い合わせ】☎0845・27・2210。

## 「新井貴浩物語」挿絵 吉田路子さんが講演会

広島カープ新井貴浩選手の成長する過程を描いた絵本「新井貴浩物語」がむしやらの前に」の挿絵を担当した、切り絵作家・吉田路



子さん(写真)が11月12日(日)午後2時、因島図書館視聴覚室で講演会を開く。演題は「新井貴浩物語」ができるまで」。挿絵を担当

## フリーマーケット

掘り出し物満載、備後地区最大級のフリーマーケットが11月3日(金祝)午前10時〜午後2時、三原リジョンプラザ屋外広場で開かれる。こども用品▽和服▽洋服▽食器類▽電化製品▽おもちゃ▽本など。【問い合わせ】☎084

## 尾道市民合唱団 定期演奏会

尾道市民合唱団第38回定期演奏会が11月5日(日)午後2時、しまなみ交流館である。開場1時30分。入場料1000円。指揮||景山勝博、ピアノ||景山桂子。8・64・7555。

## 大浜川柳会

《十月例会連句》

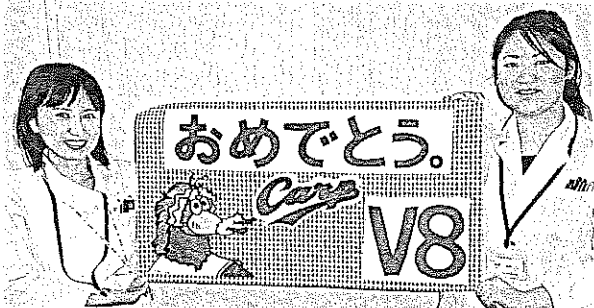
### 「マスコミ」

マスコミに 洗濯されそうコマーシャル 大出美貴乃  
マスコミを 賑やかにする 選挙戦 須山田鶴子  
マスコミは 特ダネ追って 騒ぐタニ 榎原 英子  
新聞の 広告見れば 医者いらす 河野 美代  
マスコミに スイッチオンの 小池知事 榎原 憲子  
選挙戦 下馬評だけで ほぼわかる 榎 綱夫  
知られたく ない事までも マスコミは 河野 重夫  
リポーター 突っ込み過ぎの 勇み足 須山健次郎  
スキヤンダル 飯の種です 週刊誌 東 嘉美  
新聞の 記事をテレビで 確かめる 石田 正気

### 「無題」

外灯に 名月風情 変わる世に 大出美貴乃  
せち料理 うけたまわると 神無月 須山田鶴子  
小籠振れば まだ湧いてくる 老いの智恵 榎原英子  
十五夜に 月よりダンゴの 子供たち 河野 美代  
揺れて波 コスモス続き 人を寄せ 榎原 憲子  
赤提灯 酒の肴に なる政治 榎 綱夫  
後でする 仕事はいつか 忘れている 河野 重夫  
好きだった 人と今年も 天の川 須山健次郎  
女子ゴルフ 藍の空から 奈紗の星 東 嘉美  
大正の 生まれ昭和の 語り部に 石田 正気

## がんばれカープ日本一 因島病院職員が応援



### 職員手作りの応援幕

プロ野球セリリーグCS戦広島カープ対横浜ベイスターズ第一戦のあつた18日、因島総合病院職員や家族20人が同病院の講義室に集まり、試合中継を見守り、カープに声援を送った。橋本院長をはじめ、ユニフォームやTシャツ、カンフー棒を打ち鳴らし、熱気あふれる応援歌をうたった。マツダスタジアムにかけた職員もいた。

## ひだまりで交流会 三庄コーラス

因島三庄町8区の住民で活動する混声コーラス「愛互会」は14日、因島中庄町にあるケアホームひだまりを訪れ、コーラスを披露した。「三六五歩のマーチ」「しあわせなら手をたたこう」など全12曲を利用者17人とともに歌った。

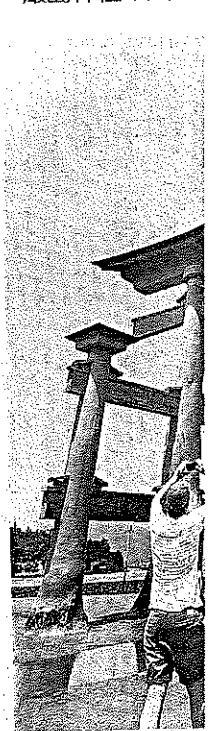


〔第3種郵便物認可〕

朝刊

天気		週間天気									
きょう	あす	福山									
6時	9時	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
福山	12/2	9/1	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)
広島	13/5	9/3	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)
三次	12/0	6/0	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)

厳島神社の大鳥居



世界一の大鳥居(厳島神社)を見た観音寺の野さん

# 宮島来島者過去最多に

魅せ顔を笑は、が、当や、が、つこに

# 瀬戸の島に文化届けた

国内唯一の移動図書館船として1960〜80年代、瀬戸内海の島々を巡り島民に愛された「文化船ひまわり」の船体を永久保存しようとして、尾道市の有志らが活動している。中心メンバーの児童文学作家、林原玉枝さんは「存在を忘れられ、一度は壊されそうになった船の文化的価値を多くの人に見直してほしい」と話している。

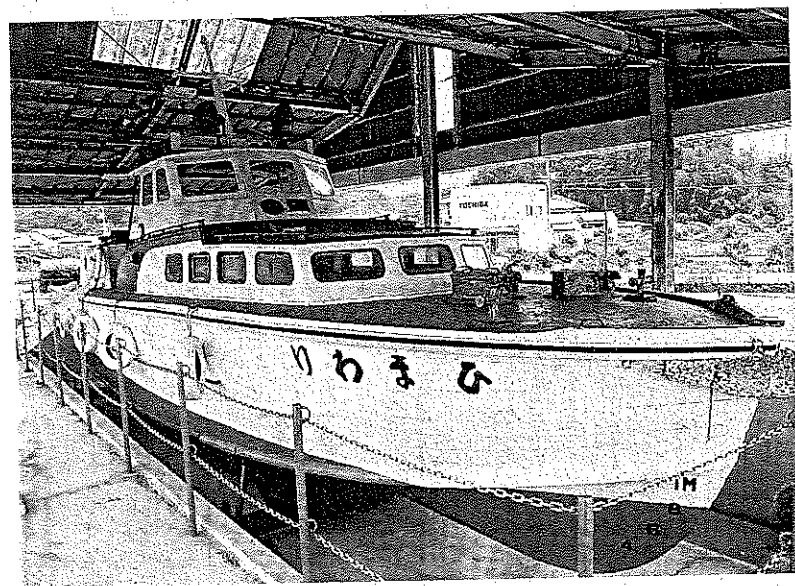
## 国内唯一の図書館船保存活動

県内では50年代から移動図書館車が普及し、県民から喜びの声が上がる中、島しょ部からも二本を届けてほしいという要望が高まっていた。県立図書館はこれを受け、62年4月に木造船のひまわり(約20ト、全長約14メートル、幅約3.7メートル)を就航させた。現在の副館長、植田佳宏さんは「戦争をなくすためには外国を含め多様な文化を知ることが必要だ、という被爆地ならではの思いも込められていた」と話す。本だけでなく、映画フィルムや選挙公報を運んだこともあった。

大崎上島など県内15の島々を巡航し、約20年間で約45万人に70万冊を貸し出した。その後、島に橋が架かったり、大型フェリーが就航したりして車での搬送が可能になったため、81年7月に役目を終えた。引退後は旧瀬戸田町(現尾道市)へ寄贈され、83年5月からB&G海洋センターの敷地内で展示。潮風にさらされ、ペンキがはげ落ちたり、窓が割れたりと傷みが目立つ状態になっていた。

2015年1月、市の撤去方針を知った地元医師、永井晃さんたちが「このまま壊すのはもったいない」と解体中止を求め、撤去は中断されている。永井さんたちは市の許可を得て

## 尾道の有志ら「存在と価値見直して」



ペンキが塗り直された「文化船ひまわり」=尾道市で

船体を塗り替え、ひまわりを美しくよみがえらせた。以来、船内で絵本の読み聞かせイベントを開くなど、かつてのひまわりが担っていた文化的役割を復活させつつある。

林原さんたちは「市には永久保存を明言してほしいが、まずはひまわりのこと」で購入できる。

人のサイト (<http://store.setouchibito.co.jp>)

母なる海からの  
お風呂

きょうはこんな日  
紫外線 洗濯 乾燥肌

あすのこよみ  
12月5日(火)  
旧暦10月18日  
(先倉) 中瀬

植田佳宏・県立図書館副館長招き

# 唯一映像使し歴史紹介を

## 22日「文化船ひまわりまつり」

広島県立図書館が1962年から19年間、瀬戸内海の離島に本や映画フィルムを届けた国内で唯一の移動図書館船「ひまわり」の歴史を紹介する第3回「文化船ひまわりまつり」が22日に開かれる。【幾野伝】

### 知ってほしい…

現役を引退後、瀬戸田町林の瀬戸田B&G海洋センターの敷地内に屋外展示されている「ひまわり」の船体の永久保存を訴え、その

歴史と価値を後世に伝えたいと活動している市民グループ「文化船ひまわりBBプロジェクト」(藤田玲生代表、15人が主催)。

午前10時から、ひまわりの船内に入り、プロジェクトのメンバーらが絵本の読み語りや図書館船の歴史を紹介する(2時間)。もともと多くの人に船の存在を知ってもらいたいと、尾道市立図書館に移動し午後2時から、県立図書館の植田佳宏副館長が当時の貴重な映像を交えながら船の歴史などを話す(ワークシヨップと合わせて2時間)。ともに参加費は無料。

同プロジェクトは、船の保存活動の資金に充てるため、78分の1サイズの船のペーパークラブ(500円)と絵はがき(150円)を制作し販売している。イベントなどの問い合わせは090-197-3218046へ。

文化船の歴史の検証や継承、船体の清掃などで活動する中心的な



メンバー、児童文学作家の林原玉枝さん(栗原町)は次のように話している。

「メディアに取り上げられて、全国区で少しずつ「文化船ひまわり」の名前が知られるようになりましたが、まだまだ地元の瀬戸田町をふくめ市民の皆様には知られていないようです。それで今回は2会場で行なうことにしました。」

先日、日本の図書館史を研究されている東北学院大学の泉山靖人先生が、保存活動の見学に来られ、その時に珍しい映像を見せて下さいました。

それは、戦後の昭和24年、移動図書館車の第一号「ひかり号」が千葉県の山間部や海沿いを走って、人々に本を

提供している映像で、GHQが製作した記録映画でした。何とその図書館車はGHQが私

り下げたジープを改造したものでした。先生から紹介された研究誌「文化の朝は

## 6月の尾道大会に向けて市民協力

# 商店主ら寄せ植え作る

## 本通り沿いに7種で花鉢を

6月に開かれる第58回「全日本花いっぱい尾道大会」で、一つの会場となる本通り商店街の通り沿いをコンテナガーデンで彩るイベントが始まった。

本通り商店街を「花商店街」にしようと尾道大会実行委員会が企画し、同商店街連合会(神原栄会長)が協力を19日に商店主らと合わせて120人が参加し、尾道商業会議所記念館

広場で花の苗の寄せ植え作業を行なった。花いっぱい大会は、花と緑を自分たちでつくったり、触れ合うことで次世代の心を育むことを目的に、全国各地で継続。尾道では、みんなの力(ONE尾道)で尾道を

移動図書館車「ひかり」を読みましたら、書籍を全国に普及させるという取り組み。GHQの主導だった。ということが分かりました。

新しい日本国憲法を作って、基本的人権というものを日本の国民に知らしめたアメリカはその考えを普及される強力な手段として図書館にその役割を待たしたのでした。

広島県内に移動図書館「みのり号」第1号が誕生したのは昭和29年ですが、人口の割合、20万人が離島にみならず状況にあった広島県が、その人々に船を運ぶというアイデアが浮上したのは、自明なことだったかも知れません。

ひまわり号は私。これまで知らなかったことを沢山提示してくれました。まだまだ残り起こせは多くの事が分かんと思います。展示されている船は単なる老朽船ではなく、貴重な文化財としてこの船から学ぶことが多いと思います。――



# 倫理委員会の設置に関する 内規を定めました

昨年来理事會では、万一会員による著作権侵害や会内でハラスメント行為が生じた場合への対応のために、倫理規定の策定について検討を重ねてきました。活動報告では触れられませんでした。実は直接の理由としては、過去における会内での著作権侵害の事案が明るみに出たことがありました。作品の盗用と考えられるケースですが、被害を受けた側の意向や、著作権侵害を犯した会員が、事実上それを認めて退会したこともあり、これ以上の報告は差し控えます。というの、当初、こうしたことが二度と繰り返されないためにも、会報紙上で実名をあげての具体的な報告を準備していたのですが、顧問弁護士とも相談し、実名をあげての報告は名誉毀損となる可能性もあり、控えることにしました。

この件では、10月に評議員會を開催し、意見を求めました。出席の評議員からは、当初この件の相談を受けた理事が内々に処理したことへの批判と共に、近年、大学や研究機関なども含め様々な事案があり、一般社団法人として何ら

かの形での規定を作成することが求められている、という意見が多く出されました。その後、理事會として検討を重ね、最終的に倫理委員會設置に関する内規という形でまとめました。以下の通りです。

## ◎倫理委員会の設置に関する内規

本會は、会員個々および組織の基本的なあり方として、

一、会内外の書き手の著作権を保護する。

二、会内民主主義を重視し、互いに会員としての権利を尊重するの2点に、特に留意する。

このため、会内で万一これに抵触する事態が生じた場合、理事會は定款第35条の規定に基づき、倫理委員會を設置し、その対応について諮問することができるものとし、倫理委員會の設置について、次のように定める。

### 1、倫理委員会の設置

会員による盗用、剽窃などの著作権侵害行為、および協会内でのハラスメント行為が起こった場合、あるいはそうした訴えがあった場合、理事會は、事態の調査や対応について諮問するため、倫理委員

會を設置することができる。

### 2、倫理委員会の構成

原則として常任理事複数及び著作権部長又は組織部長を含む構成とし、理事會の決議によつて選任する。委員會は、委員長1名、副委員長1名を互選する。倫理委員會は、必要により、弁護士に助言を求める。

### 3、招集手続き

委員會は委員長が招集する。

### 4、抵触・該当疑義への対応

委員會は、調査の結果、定款第4条1項4号の「児童文学の著作者の権利擁護」に抵触する、あるいは第9条1項3号の「この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき」に該当する疑義があつた場合、理事會に対して、定款の定めに従い、役員解任、会員の除名等の処分を行うよう具申することができる。また、理事長が当該会員に対して、退会勧告、謝罪勧告等の書簡を送るよう具申することができる。

以上です。他の内規と違い、これが発動されることがないことが望まれますが、会員としての基本的な権利を守っていくという協会の立場を、このような形で内外に表したのだ、とご理解いただければと思います。

(藤田のぼる)

## 「文化船ひまわり」の事

林原 玉枝(広島)

昭和37年から57年迄の20年間、瀬戸内海には、日本で唯一隻の移動図書館船が活躍していたという事をご存知ですか？

戦後、日本に民主主義を普及させる為に、全国に県立図書館を作るよう指導したのはGHQでした。さらに農山村漁村地域の人々にも本を届けるために移動図書館が作られました。

広島県の移動図書館車第一号みのり号は、昭和29年に運行を開始しました。当時、人口の割に当たる20万人を瀬戸内海の島々に抱えていた広島県が、その人々にも本を届けようと、考案し新造したのが、移動図書館船だったので、離島に本を届けるという計画に共感した第六管区海上保安本部船舶技術部の協力のもと、新造された全長14メートルの木造船は、ひまわり号と名付けられ1500冊の本を積みこんで、瀬戸内海の島の人々に本を届け続けました。

図書館も本屋もない当時の島の人々は、二か月に一度やってくるこの船をこぞって待ちわびたのでした。

本四架橋で島々が本州とつな



20年間、離島に本を届け続けた移動図書館船「ひまわり」

がった年昭和57年に、お役目を終えたこの船が、解体を免れたのは、島に文化を運んでくれたこの船の功績を称える当時の瀬戸田町長の英断のおかげでした。ひまわり号は、瀬戸田町に引き取られ、島の一角に展示されました。

それから35年、平成の大合併を経た長い年月は、この船の存在を市民に忘れさせるには、十分な時間でした。誰にも関心を持たれないうまま、老朽船と成り果てたこの船は、三年前に市の教育委員會で解体が決定しました。

日本の図書館史を語る上でも貴重な、この船を解体してよいものかと、数人の有志が、保存運動を開始しました。ペンキを塗り直され、きれいに掃除され再び輝きを取り戻したひまわり号は、しまなみ海道を尾道から車で20分。瀬戸田B&G海洋センターの野外に今も執行猶予の身を横たえています。これを壊してしまつてよいものか、皆さんに問いたいです。

# 「本をいっぱい積んだ車」がやってきた!

広島県立図書館 館長 熊澤正樹

## 一 はじめに

4月から広島県立図書館勤務になりました。先日、三次市からの通勤途中に、遠い昔「本をいっぱい積んだ車」の中で本を探した記憶、まるで夢のようにぼんやりと、どこでその車に乗ったのか、実際に本を借りたかも、全く覚えていませんが、壁二面の本棚にびっくりしたことが、わくわくしながら一生懸命本を探したことを思い出したのです。それは図書館という建物ではなく、「本をいっぱい積んだ車」・・・?

私は県北の三次市の田園地帯に生まれ、三次市立図書館には、10分以上歩いて、バスに乗って20分以上かかるので、学校や公民館などの図書室以外の図書館へ初めて行ったのはきつと大きくなってからで、ひょっとして「本をいっぱい積んだ車」が私の図書館との初めての出会いではないかと思えます。

執務室にあった会報「友の会ニュース」45号の内田健三元館長の寄稿文や「広島県立図書館五十年史」によると、以前は県立図書館に移動図書館があったそうです。そこで、県立図書館の移動図書館と私の記憶の中にある「本をいっぱい積んだ車」が同じものであったかどうか調べてみることにしました。

## 二 移動図書館「みのり号」について

「広島県立図書館五十年史」によると、県内の自動車による図書巡回サービスの始まりは、今から64年前の昭和28年に遡ります。

当時、都道府県立図書館未設置の2県のうちの1県であった広島県は、当館の前身である「広

島県児童図書館」を開館し、来館できない山間部、島しょ部

地域の住民への積極的な巡回サービスを展開するため、昭和

28年12月下旬から動く図書館「ブック・カー」として、ワゴン

車風の車体に「広島県立児童図書館移動文庫」の横断幕を掲げ、地域の小学校への巡回サービスをスタートさせました。

昭和29年4月1日、広島県児童図書館から広島県立図書館に改称され、「成人も対象とする広範なサービス」など県立図書館としての機能を拡充させるため、11月16日から移動図書館による館外奉仕活動をスタートさせたのです。

移動図書館車は、バスを改造したもので、黄色と青色のツートンカラー、書架は車両の内部と外部ドア内側に約1500冊の図書が積載できるもので、名称は一般公募によって「みのり号」と名付けられました。

翌年、昭和30年度には、県内の83市町村に83か所の「配本所」を開設し、6688冊を貸し出しました。しかし、市町村数は260もあり、県内全体をカバーすることは困難であったため、昭和32年6月に「みのり号2号車」、昭和35年11月には、「みのり号3号車」が増車され、巡回サービスの充実が図られました。

また、昭和37年4月には島しょ部への奉仕に当たするため、白色とオレンジ色のツートンカラー



初代「みのり1号」

の文化船「ひまわり」が就航し、これによって県内全域のサービスの体制が整いました。

昭和39年度、市町村数は109あり、

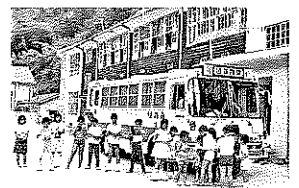
そのうち96市町村に264か所、1市町村平均2.7か所の配本

所を開設し、14万5403冊が貸し出されるなど、県内全域に県立図書館の活動が認識され、読書普及活動の推進に大きく貢献しました。

その後、日本の高度成長期が始まり社会状況が大きく変化していき、配本所を直接訪れる利用者数は減少していききました。このような理由から、昭和44年度、移動図書館による直接的な県民サービスを廃止することになり、それに代わり、図書館未設置の市町村教育委員会が行う自主的な図書館活動を促進援助するために、図書を大量一括貸し出しする間接的なサービスである「協力文庫」へと方向転換し、公民館図書室等地域読書施設の充実と図書館設置促進の働きかけを行いました。

昭和56年7月、惜しまれながら文化船「ひまわり」は引退してしまいましたが、県立図書館が広島県情報プラザに移転開館した後も「みのり号」は県内の図書館未設置市町村への巡回サービスを続けました。その頃には、徐々に市町村立図書館が新設され、さらに市町村の自立を促す意味もあり、平成7年3月には移動図書館車の普通配本を廃止し、「協力文庫」に一本化しました。

平成11年10月、45年間に渡り、県民に親しまれ、県内の図書館活動を支えてきた「みのり号」は、最後の「5号車」が老朽化のため廃車となったことで、その役割を終えました。



2代目「みのり3号」  
(撮影 昭和54年頃 竹原市立仁賀小学校)

「みのり号」の後継車として、協力文庫用の図書を運ぶための新図書館車「トウモロウ号」が広島銀行グループから寄贈され、2000冊の図書を積載し、平成15年3月まで協力文庫設置町村を巡回しました。

## 三 「本をいっぱい積んだ車」は

県立図書館に保存されている当時の記録を調べてみると、私の生まれた昭和33年には、家の近くの塩町中学校が「みのり号」配本所として開設されており、私が出会った「本をいっぱい積んだ車」は、移動図書館車「みのり号」だったのだということが判明しました。この「備後地区第二コース」は、双三、世羅、三次、比婆、庄原、高田、安佐地区を5日間での行程で年間11回巡回していたことも判明しました。

昭和28年に始まった広島県立児童図書館の「ブック・カー」での移動文庫活動が、県立としての機能を発揮する第一歩となりました。昭和29年から45年間の移動図書館車「みのり号」と文化船「ひまわり」の取り組みは、私の子供時代のように、簡単には公共図書館に行けない地域に住む県民への巡回サービスと市町村立図書館の設立への働きかけを始め、県内の図書館活動に多大な影響を与え、読書活動推進に貢献するなど県立図書館としての役割を果たし続けました。

昭和33年度の移動図書館実施計画には「県内を巡回し、県民に対し積極的な図書館奉仕を行うもって教育と文化の発展に寄与する」と明記されており、多くの先輩諸氏のご尽力と広島県立図書館友の会をはじめとした関係団体等の皆様との協働によって、県立図書館の基礎が築かれていたことを忘れず、社会状況等の変化に対応した県立図書館としての役割を果たして参りたいと思います。

林原

差出人: "IZUMIYAMA" <yizm@mail.tohoku-gakuin.ac.jp>  
日時: 2017年12月28日 19:41  
宛先: "akira nagai" <akira0123@comet.ocn.ne.jp>  
件名: Re: 文化船ひまわりの永井晃です。

永井晃先生

仙台の泉山です。たいへんご無沙汰しております。この春より、縁あって同じ仙台市内にある東北学院大学（私立大学）の教養学部人間科学科にお世話になっております。ご挨拶が遅れ申し訳ありません。

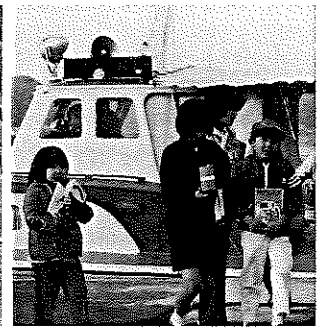
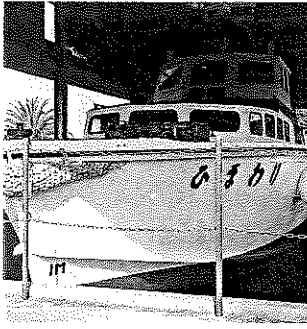
東北大学に届いた郵便物は転送ではなく、機会を見て受け取りに行っているのですが、ここしばらく忙しくて受け取れずにおりました。わざわざお送りいただいたにも関わらず、申し訳ありません。年明け早々にも受け取りにいきたいと思います。

なお、メールは転送してもらっておりますので、旧メールアドレスでも届きますが、現在はこのメールの送信に使用しているメールアドレス（下記にも記載しております）となっております。

ご紹介いただいた「せとうち暮らし」20号の情報をウェブサイトで探しましたが、この表紙に描かれているのは「ひまわり」でしょうか？ 記事も含め興味深いので、早速注文したいと思います。

転職して初年度ということもあり、なかなか身動きがとれずにはいましたが、間もなく授業が終わることもありこれから年度内の調査を計画したいと考えておりました。その中で、前回はゆっくりお話を伺うことができませんでしたので、もしよろしければ、林原様の取り組みも含め「ひまわり」にまつわる地域の動きなどを教えていただく機会をいただければ幸いです。今回は、広島県立図書館の植田様にも連絡を取って、広島市と尾道市を回る行程にできればと考えております。私の方の校務の予定が年明けにもわかる見込みですので、改めてご連絡差し上げたいと思います。勝手ではありますが、お時間をいただければ幸いです。

仙台では昨日、今シーズンになって初めての本格的な雪が平野部にも降りました。年の瀬を迎えお忙しいこととは存じますが、



# せとうち暮らし vol.20

## 発売記念トークイベント

in  
尾道

旅する編集部  
本はチケット。  
ページをめくると、そこは瀬戸内。

2017年 1月8日(日) 13:00~14:30  
会場 / 尾道商業会議所記念館 2F  
(尾道市土堂 1-8-8)

参加  
無料

今回のトークイベントでは、編集部がある香川県の島を中心に、私たちが旅してきた瀬戸内海の島々の魅力を、映像や写真などを交えながら、ご紹介します。また最新号20号で取材させていただいた「海を走る図書館文化船ひまわり」についてもお話しします。

せとうち暮らし編集長・山本政子、編集部・世戸勝徳  
ゲスト・nakaban氏(画家)せとうち暮らし 表紙「文化船ひまわり」挿絵



「せとうち暮らし」は、瀬戸内の島々とその沿岸に暮らす人たちの日々の物語をお届けするライフスタイルマガジンです。自分たちの足で歩いて、見て、聞いて、感じたことを、ていねいにお伝えすることを大切にしながら、島に通っています。

主催 / 株式会社瀬戸内人「せとうち暮らし編集部」 お問い合わせ / 087-823-0099 (瀬戸内人 セトウチピト)



◎想・文化船ひまわり号

林原玉枝

〔文〕

▼ 瀬戸内海の生口島。B&G海洋センターの敷地の一角に、その船は眠っている。全長14メートルの木造船。その名も、文化船ひまわり号と名付けられたその船は、かつて瀬戸内海を巡って、離島に本や文化を届ける「移動図書館船」として活躍した、世界的に見ても珍しい船である。

10 図書館大国と言われるフィンランドではフィヨルドの海を巨大な図書館船「エボス号」が、1950年代から運航しているが、わが国でも、60年に広島県で同様な船が造られ、80年までの20年間、瀬戸内海の離島に本を届けていた事を、どのくらいの人を知っているだろう。

20 戦後、被爆地広島県の県立図書館と県教委は、平和を愛する人を育てるためには本や文化に親しむことが大切だという思いから、当時500万円という建造費を計上して江田島の造船所でこの船を新造したのである。

30 船室の壁は本棚になっていて、まるで小さな図書館のよう。ひまわり号は、1500冊の本を積みこんで瀬戸内海の離島を巡ったのである。南は大竹市の阿多田島から北は福山市沖の走島まで、県内19の島々を四つ

の航路で巡回していたという記録が残っている。

35 図書館はおろか、本屋もテレビもない当時の島の人たちは、2カ月に1度やってくるこの船が、どんなに待ち遠しかっただろうか。

40 やがて島々に橋が架かり70年に引退したひまわり号は陸揚げされ、当時の瀬戸田町長の英断によってこの船の功績を後世に伝えるべく現在の場所に保存設置された。

これから先、この日本で、同様の船が建造される事は二度とないだろう。ひまわり号は、戦後の広島や日本の図書館史を語る上でも、貴重な文化財なのである。永久保存されるのが望ましい。

55 B&G海洋センターは、しまなみ海道の生口島インターを降りて、平山郁夫美術館へ向かう途中にある。海洋センターの芝生広場に静かにたたずむその船体を見に行つてほしい。きっと何かを語り掛けてくれる。

▲ 宛 (児童文学作家) 〔文〕

〔文〕

## 「ひまわり」(広島県:NTK/C-2)

クラフトの誕生する以前の木造船の時代、後のクラフトに良く似たスタイルの小型船が港内交通船として活用されていた。

そのような船の歴史を保存船として後世に残しているのが、この「ひまわり」である。

本船は昭和36年、江田島造船にて広島県の文化船として就航した。

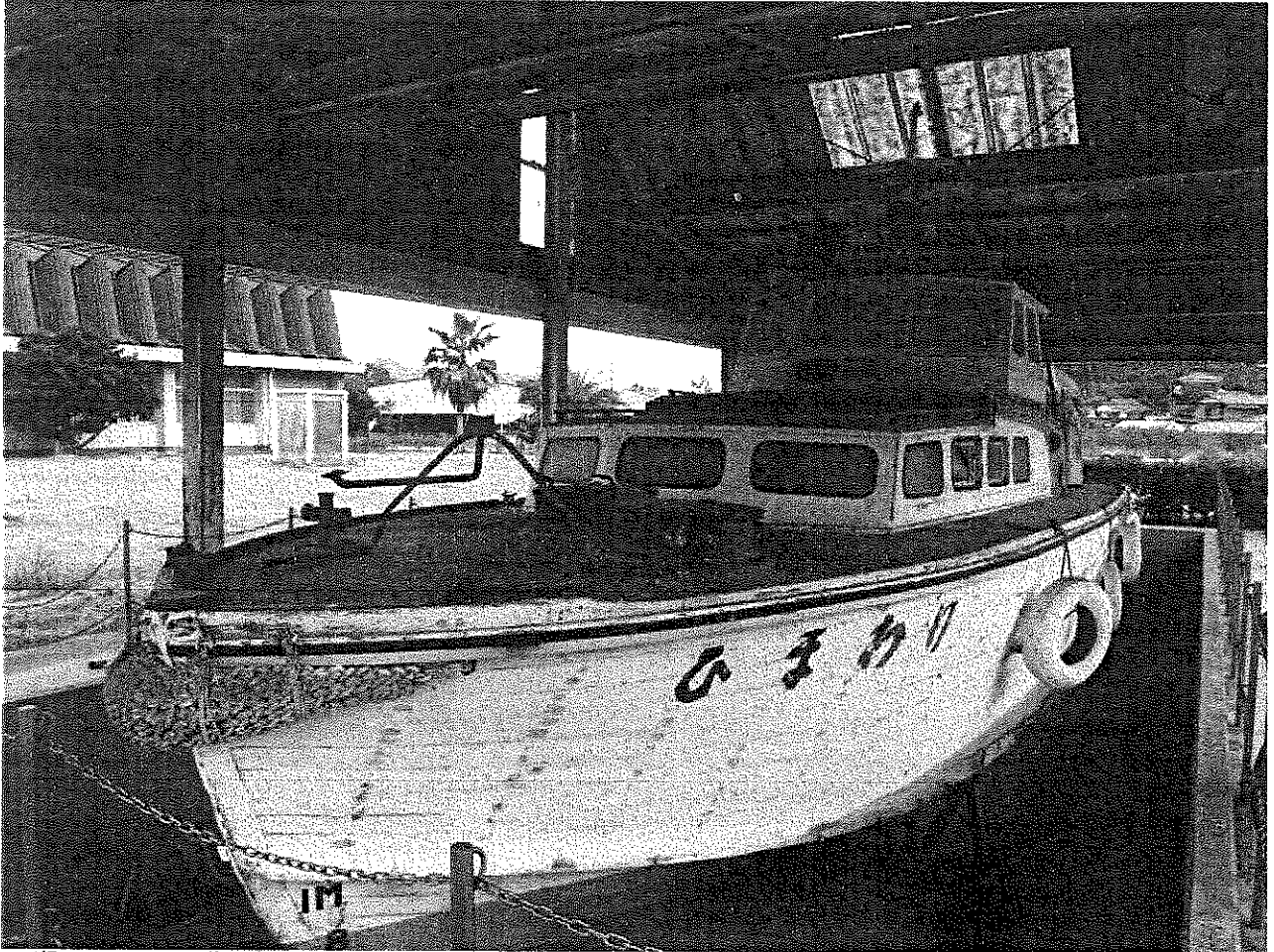
文化船、というどのような船か判りにくいと思うが、広島県が島嶼部の人々に県立図書館の本を貸し出すために建造した

移動図書館船であり、約19年の長きに渡って西は福山の走島から東は大竹の阿多田島まで、県内の島々を巡り続けた。

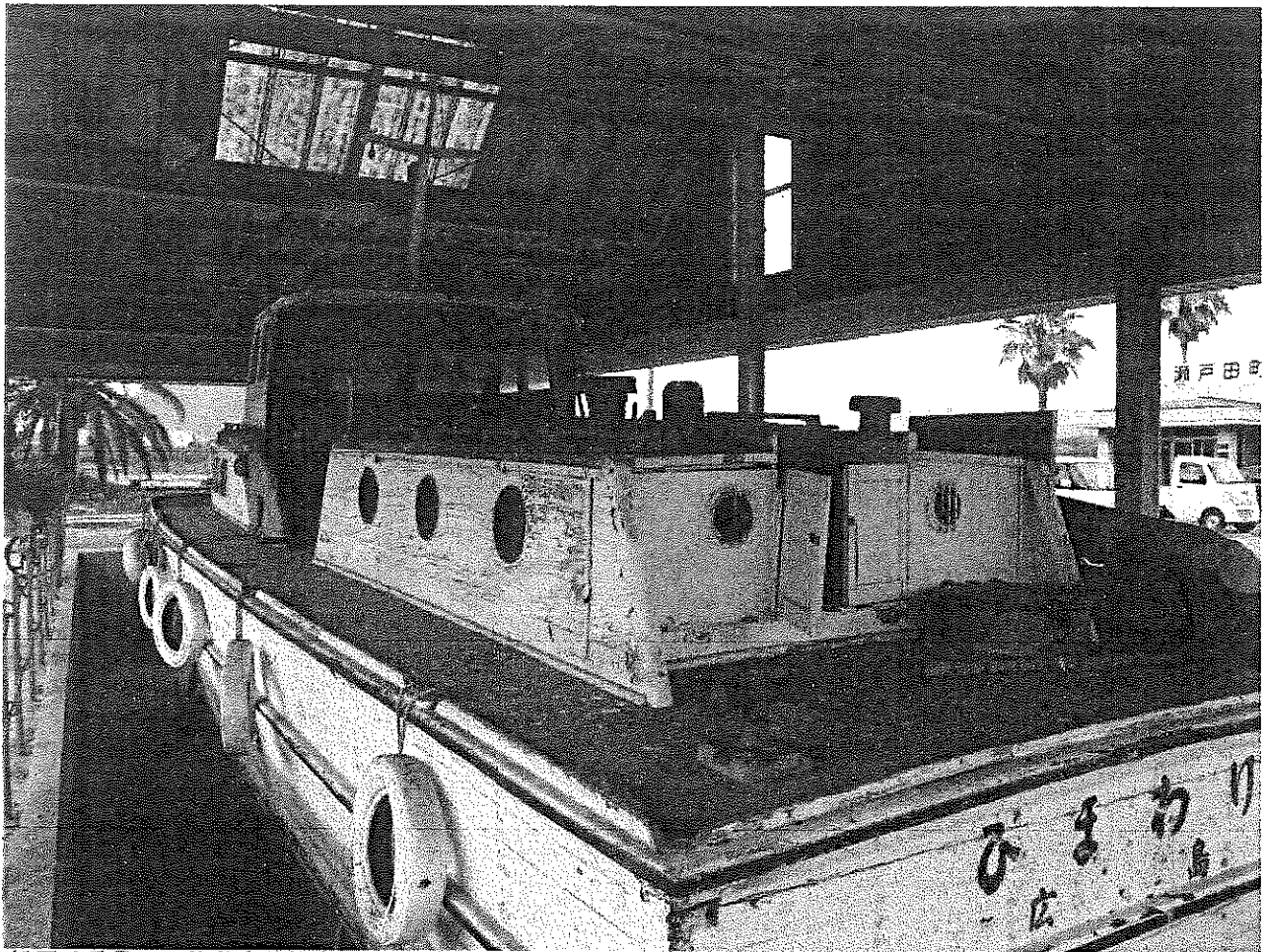
その後、フェリー航路網の発達や架橋の整備により昭和56年に引退、旧瀬戸田町のB&G海洋センターに保存され現在

に至っているが、引退して約30年、建造からだ約50年になろうとしているにも関わらず原型を留めているのはひとえに保存

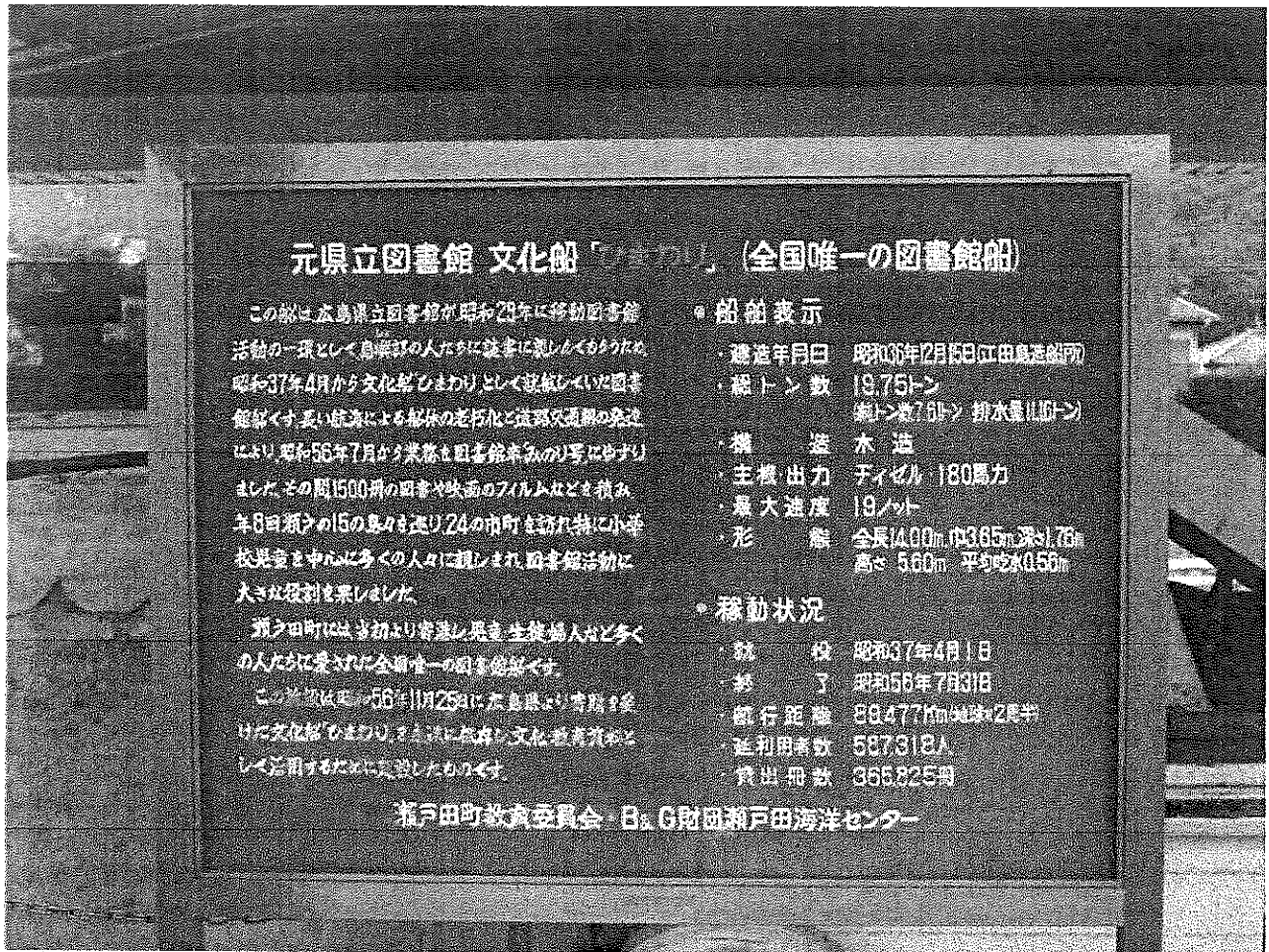
場所へ屋根が付いていたからに他ならない。



旧瀬戸田町(現尾道市瀬戸田町)のB&G海洋センターに保存されている「ひまわり」(平成18年8月)。窓ガラスが1枚、割れていることと船首のハンドレールとブリッジ後部のオーニングが外されているのを除けばほぼ原型である。尚、ブリッジ下の船首部が書庫として使用されていた。



船尾は乗員用の休憩室兼炊事場として使用されていたらしい。  
 本船は現役時代にエンジンを換装しているが、引退後に瀬戸田町でエンジンを売ったらしく、当時の町の広報誌にその  
 内  
 容が載っていたと記憶している。



本船の紹介パネル。文章の後ろのほうに文化・教育資料として活用する…と、あるが、特に活用されていないのが残念だ。  
 しかしながら、保存時に屋根を架けておいた事が功奏し、現在のところまだ原型を留めている。  
 そう考えると、呉に保存されている「金星」も、屋根があったほうが良いのではないかと思う。

日本特殊船協会へようこそ!!へ戻る

日本で唯一の  
図書館船

ひまわり

